

早いもので、今年も残すところひと月ほどとなりました。皆さんは「年末」と聞いて、何を思い浮かべますか。私は、家の手伝いで多忙だった子どもの頃を思い出します。実家は小さな商売を営んでいましたが、年末ともなると、正月用の贈答品の納入に向けた手作業を、夜まで家族総出で手伝うのが恒例でした。そのせいか、中学生のとき、12月の期末テストの結果が思わしくないと、手伝いを理由に親に言い訳していたことを懐かしく思い出します。

皆さんも12月は何かと忙しい日々を過ごされるのではないでしょうか。そして、仕事などが落ちていたら大掃除をし、大みそかにそばを食べ、新年を迎える方が多いのではないかと思います。

こうした日本の風習には諸説ありますが、大掃除は、宮中で年末に御所を清める儀式として行なわれていた「すす払い」が世間一般に広まったとされています。年越しそばは、細く長いそばにあやかって長寿を願う意味のほか、麺が切れやすいことから「厄を断ち切る」という意味も込められているそうです。

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

年末年始の過ごし方

帯広市長 米沢 則寿



仕事においても「一区切り」という言葉をよく使います。複雑で難しい課題があり、達成するまでに長い時間を要する仕事であっても、前向きな気持ちで仕事を次に進めるためには、一定のスパンで区切りをつけてこれまでを振り返り、今後を展望することが大事です。私自身はその手法として、毎朝4時過ぎに起き、静かに自分と向き合う時間を意識的に作ることで、一日を始めるための区切りをしています。私たちにとって年末は、一年間積み上がってきたものを一度リセットし、新たな気持ちで新年を迎えるための大切な区切りの時なのではないでしょうか。

帯広児童劇団

「ミュージカル 宇宙センセーション☆1 Azur アジュール」

問い合わせ 児童会館（緑ヶ丘2、☎24・2434）

小学生から高校生で構成している帯広児童劇団が、日ごろの練習成果を披露します。ぜひご覧ください。

日時

①12月6日(土) 18時～20時（17時15分開場）、
②12月7日(日) 15時～17時（14時15分開場）

場所

市民文化ホール（西5南11）

入場券

前売券1000円、当日券1200円
児童会館、市役所地下売店（西5南7）、市民文化ホールで販売。



広報広聴課職員が行く!

オビヒロ カメラレポ

OBIHIRO CAMERA REPORT

百年記念館ロビー展「アイヌ文化ロビー展」

10月4日から19日にかけて開催した「アイヌ文化ロビー展」。アイヌ文化と関わりの深い動植物の写真や楽器、生活の道具などが並び、丁寧な説明が添えられていました。



各写真にはアイヌ語名が掲載され、ヒグマは「キムンカムイ（山の神）」、サケは「カムイチェプ（神の魚）」と呼ばれていたそうです。



アイヌの人々が大切にしてきた自然へのまなざしに触れ、身近な動植物を新たな視点で見ることができました。（10月17日、百年記念館）

皆さんの声を
まちづくりに反映

パブリックコメント
（市民意見提出制度）

QRコード

問い合わせ 各担当課

各計画の策定に当たり、市民の皆さんから意見を募集します。計画（原案）および募集要領は、各コミセンや担当課、市ホームページで公開します。意見を提出する場合は、**11月26日(水)～12月25日(木)**までに、案件名、氏名、住所、意見を書いて、郵送・持参・ファクス・Eメール・WEBフォームのいずれかで担当課に提出してください。詳細は募集要領を確認してください。

帯広市強^{じん}靱化計画（原案）

帯広市に発生しうるさまざまな災害のリスクを見据え、最悪の事態を避けるため、平時の備えを中心に施策を総合的にまとめた計画。

担当課 危機対策課（市庁舎5階、☎65・4103）

第2期おびひろこども未来プラン（改定原案）

こどもたちが健やかに成長できるよう、市民や企業、行政などの地域全体で子育てに関わりあうまちづくりを進めるための計画。

担当課 こども課（市庁舎3階、☎65・4158）

帯広市新型インフルエンザ等対策行動計画（改定原案）

新型インフルエンザ等対策における帯広市の基本方針や役割などを定める計画。

担当課 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）

第56回おびひろ菊まつり

帯広三大まつりの一つ「おびひろ菊まつり」が、10月25日から29日まで開催されました。

会場では、「塔を照らす大輪の華」をテーマとした総合花壇のほか、菊花同好会が制作した菊を陳列した菊花展など、多彩な菊が会場を彩り、気品ある香りで包まれていました。



また、訪れた人からは、「毎年、帯広の秋の風物詩として、まつりを楽しみにしている。今年も趣向を凝らした華やかな作品ばかりで、一つ一つ楽しませていただいた。来年も楽しみにしたい。」といった声もあり、姉妹都市物産展やステージイベントも多くの人でにぎわっていました。（10月29日、とかちプラザ）